

近所に住んでいる
お姉ちゃん…
彼女は人に憧れて
人間社会で暮らす
珍しいポケモンだ

僕が物心ついた頃から
可愛がってくれていて
今では本当の姉のように
慕っている

あっ
おはよう
ございます！

今から
おでかけですか？

そんなお姉ちゃんに
トレーナーがいないと
知ってしまったのは
つい最近のことだった

憧れの人を自分の
モノにできるかも…
そんな邪な考えが
頭をよぎり、僕は…

ふと気の迷いで
投げたボールが
お姉ちゃんに
当たると…

お姉ちゃんには
信じられないほど
あっさりと
捕まってしまった

…

ごめん…

ごめんね
お姉ちゃん…

すみません

たぶっ

はい

でも…
こんなボール一個で
従順になっちゃう
お姉ちゃんも悪いよ
僕に謝ってよ…！

こんなえっちな体で
僕を誘惑して…
責任とって僕のお世話
してもらおうから…！

皆にバレないように表では
普段通りの演技をさせつつ
裏でこっそりと
お姉ちゃんを飼うことにした

お姉ちゃんは
いつも優しくて…
僕はそんなお姉ちゃんに
ずっと憧れていた

泣いても
いいんですよ

落ち着くまで
お姉ちゃんが
そばにいますから

誘惑に負けた僕は
お姉ちゃんを
捕まえてしまった

ずっと好きだった
お姉ちゃんが…
僕の手の中に…

どくん…

どくん…

ボールに入った
お姉ちゃんは
僕の言うことを
何でもきいてくれる
ようになった

うっ…
お、お姉ちゃん…
僕と結婚して…
僕のお嫁さんになれっ

はい

ほら…お姉ちゃん
僕の匂い覚えて…

たんっ♡

やめ♡

たんっ♡

たんっ♡

ぐちゃ♡

ある日、石に躓いた僕は
お姉ちゃんの胸の中に
飛び込んでしまった

怪我がなくて
よかった…

ほっ…

私は大丈夫ですから
本当に気にしないで
ください

僕のことを気遣って
そう言ってくれた
お姉ちゃん…

でも、そんな言葉とは裏腹に
その顔は赤く染まっていて…
お姉ちゃんの初めて見る一面に
僕は何故か嬉しくなっていました

僕に捕まったお姉ちゃんは
僕の言うことを
何でも聞くようになった
その代わりに…以前のように
ころころと表情を変えることは
なくなってしまった

…

だけど…
そんなお姉ちゃんだけが
僕を抱きついていた時だけ
命令をしなくても自然と
抱きしめ返してくれる
ことに気がついた

ごめん…
お姉ちゃん…

ごめんなさい…

たぶっ♡

ギゅっ♡

びゅっ♡

ぎゅっ♡

ぎゅっ♡

理由はわからないけど…
僕の好きだったお姉ちゃんが
まだ残っている気がして
色んな感情でぐちゃぐちゃに
なりながら、僕はお姉ちゃん
の中に射精してしまった…

周囲に怪しまれないよう…
普段通りの演技をするように
命令すると、彼女はあっさり
いつものお姉ちゃんに戻った

あ、あのっ！
貴方に一目惚れ
しましたっ…！

俺と付き合っ
てくださいっ…！

えんっ
わ、私ですか…？

えっと…その…
お気持ち
嬉しいの
ですが

すみません
私には先約が…

命令したのは僕だけど…
目の前のお姉ちゃんの姿は
あまりにも普段通りすぎて…
もしかして、今までの出来事は
全部僕の夢だったのかも…

その夜、僕と二人きりに
なったお姉ちゃんは…
またもやあっさりと
僕だけのペットに戻った

？

…

じー…

ね、ねえ…
お姉ちゃん
は僕
の
だ
よ
ね…？

はい

じゃあ…さっきみたいな
人がまた来て
もすぐ
追
い
返
し
て
く
れ
る…？

承知しました

くちゅ♡
くちゅ♡

ぎゅ♡







